



Yonago East Weekly

「一人ひとりが輝きを！ ロータリーに大きな輝きを！」

- 創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 Tel (0859)32 - 5531
- 例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 Tel (0859) 33-0911
- 会長/高橋孝之 ●幹事/杉本真吾 ●会報/細田耕治

会員数 97名
(正会員 96名 名誉会員 1名)

今週のお祝い

本人誕生祝：3日 伊藤慎哉君 5日 足立博俊君 6日 面谷博紀君 10日 木山力哉君 16日 関 充宏君 18日 中村剛士君 22日 松浪昭二君 26日 安井峰男君

会長挨拶

各地で入学式が行われ桜満開です。日本の桜というのは、世界各地から観光客が来るほど魅力的です。中津川の友人から、桜を見に来て欲しいと毎年依頼があります。広大な敷地に自宅を建設し、その敷地に桜はあります。その桜は、その友人が伐採される予定の桜を懇願して譲り受けたものです。その桜を自宅に植えたときから、商売がうまくいくようになったそうです。人間にも植物にも、魂が宿っていることを感じます。この地域にも、桜の名所は沢山あります。皆でその魂に想いを寄せながら、桜を見に行きましょう。

幹事報告

- 4/19 大山春の一斉清掃
会員14名、米子松蔭高校IAC10名予定
- 5/24~26 芸場RC訪問交流会 4/10〆切
- 『地区大会記念誌』配布 ガバナー事務所より
- 各グループのガバナー補佐メッセージを地区ホームページに掲載
- 例会変更のお知らせ
米子中央RC 4/16(木) 例会振替
ビジター受付あり
" 4/23(木)夜間例会に変更 "
- 倉吉 4/21(火) " あり
- 鳥取 4/23(木) " あり(事務局)
- 倉吉東 4/23(木) 花見例会 あり(事務局)

今後の主な行事予定		
4/19	地区研修・協議会 大山春の一斉清掃	(岡山コンベンションセンター他)
4/21	第3回家庭集会	(三井別館)
4/26	第1・2グループ合同IM	(倉吉シティホテル)
4/29	休会(法定休日)	
5/6	"	
5/13	新旧引継ぎクラブ協議会	例会終了後 (2F高砂)



Light up Rotary
ロータリーに輝きを

<プログラム>

「ロータリーの友」紹介
雑誌委員会 西村正男 リーダー



「私の職業」 松本誠二会員



- P3 RI会長メッセージ ロータリーの雑誌を分ち合おう
今月は雑誌月間です。多数のノーベル賞ピューリツァー賞受賞者が執筆に注目。
- P7 雑誌で知るロータリー
- P8 ロータリー雑誌の仲間たち
指定記事を書いたら地域雑誌になる。日本の発行部数は95, 200部で他国と比べ多い。
- P15 「友」で見る奉仕活動の変遷
1975年8月号 多治見RCの記事
1975年6月号 奈良RCの記事
- P24 ロータリーデー環境保全の取り組みを知ってもらおう
- P27 伝えよう岡山の魅力 岡山南RCの記事
- P40 ロータリー財団管理委員長ジョン・ケニーの記事
- P64 友愛の広場 同姓同名の慶事 徳山RC 三浦靖彦
- P61 友愛の広場 急性虫垂炎が減ってきた 出雲中央RC 山口孝之

次回プログラム

- 4/15 「鳥取県中部にできた琴の浦高等特別支援学校 知っておられますか？」
鳥取県立琴の浦高等特別支援学校
進路指導部長 伊藤 孝史氏
- 4/22 「皆様のお陰で30周年」
米子がいな万灯振興会
会長 鶴田 陽介氏
- 4/29 休会

入会して3ヶ月が経ちました。何故、スバル代行という社名なのか、またよく起業したな、とよく声をかけてもらいます。今日は、そのあたりをお話出来ればと思います。

まず、何故スバル代行という社名なのかということですが、昭和58年に先代が起業しました。私とは血縁関係はありません。先代は、陸上自衛隊で戦車の教官をしておりました。大変硬派でした。飲酒運転の厳しさが益々加速することを予想し、代行業を思いつかれました。自衛隊と言えば富士重工、富士重工といえばスバル、ということでスバルという社名がつけられました。

次によく起業したな、ということですが、先代がいますので2代目です。米子西高を優秀な成績で(笑)卒業し京都の大学生のときに、父が経営する家業が倒産したことを聞き、大学を中退しました。そのときに、その頃から大変お世話になっていた先代の娘夫婦から、先代の後をついで欲しいと言われたのです。一度は断ったのですが、その理由は、運転が苦手な方向音痴のコンプレックスがあったからです。しかし、縁があって23才のときに入社を致しました。そのとき初めて大人の夜の世界を知りました。お酒を飲むと大人は子供に帰るんだなと感じ、そのお手伝いをしたいと決意を致しました。

仕事をしていて印象的なエピソードは、新宿まで代行して欲しいと言われたときです。福岡もありました。29才のときに先代が亡くなり、1年間先代の奥様が社長をされ、社長交代を行いました。今では、方向音痴も無くなり、県西部は大体指示を出せるようになりました。

10年後は、今の喫煙社会みたいに飲酒文化もそうなり、商売が無くなるという心配をしております。こうして入会させて頂き、このご縁を大切にして、皆様の飲酒シーンの最後をお手伝いさせて頂きたく思います。宜しく願い致します。